

虫ケアステーションとは

虫媒介感染症のリスクを紹介し、虫よけ剤の正しい使い方を啓発するためのアース製薬オリジナルのブース。

当ブースでは、虫よけ剤の正しい使い方を伝え、蚊やマダニ等の害虫の被害症例も展示することで、虫ケア啓発を行う。

【イメージ】



【展示パネル・チラシ例】

虫よけ剤の正しい使い方

① 腕、足など露出部分に約15cm離してから噴霧する。
② 顔、首筋には手のひらに噴霧してから、ムラができないように塗る。
※汗で流れるので頻りに塗り直す

塗りムラなくしっかり塗ることが大事!

ディート(有効成分)

塗りムラがないとき
成分が肌を覆れているため虫が肌を感知できない

ディート(有効成分)

塗りムラがあるとき
成分が覆われていないすき間を虫に狙われる

そのマダニ ウイルスをもっているかも?

病原体をもったマダニに咬まれることで、「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」や「日本紅斑熱」等に感染する恐れがあります。

注意 近年増加中! 春と秋は特に注意!
4月~10月にマダニの活動が活発になります。

森・草むら・公園・庭など

効果的な対策

肌を露出しない服装

帽子、長袖、長ズボン、靴、スニーカー

虫よけ剤の正しい使い方

1. 腕、足など露出部分に約15cm離してから噴霧する。
2. 顔、首筋には手のひらに噴霧してから、ムラができないように塗る。
3. 塗りムラなくしっかり塗ることが大事!

マダニに咬まれた! そんな時は...

・患部に引き傷こうとせず、医療機関(皮膚科等)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらってください。
・マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。



兵庫県とアース製薬は包括連携協定を締結し、蚊・マダニ媒介感染症対策に取り組んでいます。